



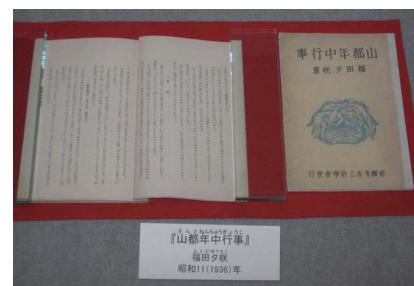
まち博へよう 行こう

飛騨高山
まちの博物館

城下町高山の新しい交流拠点「飛騨高山まちの博物館」

その収蔵品を紐解くと、現在に生きるわたしたちと過去の先人たちとの、刻を超えた出会いが待っています。

広報たかやまでは、収蔵品とそれにまつわるエピソードを紹介していきます。



『山都年中行事』

人の魅力、まちの魅力、高山の魅力

第六章 伝統行事

高山には、日々の節目となる年中行事が数々伝えられています。伝統行事の展示室では、そういった行事や芸能といった、優れた文化を『山都年中行事』を通して紹介しています。

『山都年中行事』とは、高山の詩人、福田夕咲が、当時の人々の様子や情景描写を交えて高山の行事の詳細を記した作品です。「山都」という語句は高山を指す表現として、夕咲が好んで使用しています。

本書の中で12月は、「廣い世の中から、ぼつり切り離された佐びしい山國の冬の生活は、絶海の孤島のそれに比ぶべきものである。然し楽しみは這

裡(ここ)にもある」と記されています。囲炉裏やコタツでたわいもない話に興じることのようにです。

当館の展示室には、現在ではあまりみかけない行事も紹介していますので、月ごとの年中行事を振り返り、当時の文化に触れてみてはいかがでしょうか。

※伝統行事の展示室では、節句人形など季節に合わせた展示替えも行っています。また、市図書館「煥章館」には福田夕咲コーナーもありますので、併せてお立ち寄りください。

問合せ先

まちの博物館
☎32-1205



利用のご案内

- ◆開館時間 展示室 午前9時～午後7時／
研修室 午前9時～午後9時／庭園 午前7時～午後9時
- ◆休館日 無休(臨時休館有)
- ◆観覧料 無料
- ◆駐車場 空町駐車場(市民の方は2時間無料です※証明書要)
〒506-0844 高山市上一之町75 ☎32-1205 FAX35-1970

市長だより③

市制施行75周年を 契機として

高山市長 國島芳明

今年も残すところあと1ヵ月となりました。今年3月に東日本大震災が発生し、2万人近い死者・行方不明者を出す未曾有の大災害がありました。お亡くなりになられた多くの方々に深甚なる哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心中よりお見舞い申し上げます。

市ではこのような自然災害をはじめ、市が直面する危機管理全体を総括する「危機管理室」を設置するとともに、落ち込んだ海外誘客の回復をはじめ、「人・モノ・金」を高山に呼び込むために「海外戦略室」をそれぞれ4月に立ち上げ、私自ら先頭に立って全力で頑張っているところです。

この大震災を決して忘れることなく、突きつけられた様々な課題解決を市政の視座にしていくことが、これからの80周年、100周年へと続く高山市の輝かしい未来を開くものと信じております。

75周年を迎えることができましたのも、先人の皆様のたゆまぬ努力の賜物であります。改めて敬意を表しますとともに、今年を契機として、さらに自立したまちづくりと、人々に笑顔と活力があふれる「市民が主人公の市政」のために、来年もまい進しますので、どうぞご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。

年末で多忙の折ではございますが、市民の皆様におかれましては、どうぞご自愛くださいますようお願いいたします。